

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '桜川市岩瀬保育所管理事業' and '子育て支援及び少子化対策'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about childcare services and staff procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for activity indicators like '開所日数' and '入所児童数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員, 委託等).

Table comparing 27年度事業費実績 (千円) and 28年度事業費予算 (千円) across various categories like 報酬, 需用費, 役員費, etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 28年度, 29年度, and 30年度の事業内容. Includes a list of main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	桜川市岩瀬保育所管理事業	事務事業No.	20201000246	所属課	児童福祉課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、働く保護者を支援するための保育所を昭和37年に開所し、設立以来発達状況にあった行事を考えてきた。核家族・女性の社会進出に伴い、共働きの保護者が多くなり保育所に子どもを預ける保護者が増えている。開所当初と比較して少子化の傾向が強くなっているが低年齢児の入所児童数は増加している。近年、保護者の保育ニーズは高まり、我が子を中心として考える傾向が強くなっているが、クレームは減少してきた。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	改善点として、年齢別のクラス編成が望ましい、との意見があるが、アンケートの結果によると97%の保護者が安心して仕事に出かけられるという意見が寄せられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市立岩瀬保育所管理事業により、「入所児童が安心、安全に楽しく過ごせる」「仕事と子育ての両立ができる」ことにつながり、施策の基本事業の子育て支援体制の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	公立保育所の場合は、営利目的ではないので家庭状況が厳しい子や心身の発達に課題のある子など、保育を必要とするすべての子を受け入れている。子育て支援は市としての課題である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	アンケートを実施した結果、97%の保護者は満足しているが、少数意見として行事の日程の見直しについての要望があったので向上の余地がまだある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input type="checkbox"/> 影響有	子どもが健やかに育ち保護者が安心して預けられる環境が失われ、就労している保護者にとって仕事を継続していくことが困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) →)	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	具体的手段、事務事業名 岩瀬認定こども園事業 坂戸幼稚園と統合して岩瀬認定こども園を開設する。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	28年度より坂戸幼稚園と統合して、教育と保育が一体となる「岩瀬認定こども園」を開設することにより、施設維持管理費などの削減を図ることが出来る。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input type="checkbox"/> 公正・公平である	保育料については、保護者の所得に応じた1~7段階で設定しており、この額については公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	親子で楽しめる行事の在り方を考えて進めてきた結果、父親・祖父母の参加が増加し行事がより良いものになった。しかし、毎年保護者の満足度を上げるためにアンケートを行い保育内容の充実を図る。施設の老朽化が進み、雨漏りなどが発生しており対策が必要である。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下			×																				
希望保育実施施設を減らすことにより、保護者に送迎の負担がかかってしまう。また、子どもが、慣れない施設なので不安が生じやすい。改善策として、各保育所から勤務にた。さらに保護者に説明をし理解協力を得る。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認 平成28年度より、坂戸幼稚園と統合して、岩瀬認定こども園になる。